



# すみ 隆仁

活動報告

2023年冬号

TOPICS

千葉県総合救急災害医療センター11月1日美浜区に開院 »

令和5年11月1日に千葉県総合救急災害医療センターが開院しました。これまで県内の救急医療を支えてきた千葉県救急医療センターと千葉県精神科医療センターが一体的に整備されることにより、身体と精神の救急医療のさらなる充実、医療の質の向上が図られます。千葉県民の健康と安全、生命を守るために、県内救急医療における最後の砦としての役割を担い、災害時においても身体と精神の両面にわたる包括的な医療を提供してまいります。

統合

## ・千葉県救急医療センター

県全域を対象に重症患者の救命救急措置を行う第3次医療施設  
高度救命救急センターとして県内の救急医療を支援

## ・千葉県精神科医療センター

わが国初の精神科救急に特化した病院  
精神科救急医療システムの中核医療施設として県内の精神科救急を支援



## 救急医療

屋上にヘリポートを設置し、従来からの搬送時間の短縮と遠方からの受け入れを推進。初療室ではハイブリッドERを運用し、CT撮影による診断からの緊急処置と血管造影診断装置によるカテーテル治療が同時にに対応可能です。特に重症外傷や院外CPA(心肺停止)患者への治療介入の時間短縮を図り、救命率を改善します。

## 精神科救急

県内で発生する精神科救急ケースに、24時間365日対応することを主たる任務としています。入院した急性期患者は退院まで治療し、退院後の在宅ケアもフォローアップすることを原則とし、入り口から出口を一貫する4つの基本戦略(即応医療、集中医療、継続医療、包括医療)のもとで運営。

## すみのポイント

ココが  
すごい!!

Dual-room型 Hybrid ER systemとしての運用をスタートしました。循環動態が不安定な重症外傷患者に対しても迅速かつ安全に全身のCTを撮像することができ、その後場所の移動を必要とせず、すぐに止血術に移れる環境を整備する目的で開始したHybrid ERは、多数の救急医療に整備されるようになりました。

頭部外傷、腹膜内出血、骨盤骨折の症例の場合、手術や経カテーテル動脈塞栓術(TAE)などを行うために患者を多数回移動し、多大な治療時間を要します。一方、Hybrid ERでは、患者を移動させることなく、受け入れから治療までを完結させることができます。

このように手術および血管内治療が直ちに実施できることがHybrid ERのメリットであり、救命率を向上させる可能性があります。



Check!

昭和54年2月20日 千葉市生まれ

千葉大学附属小学校卒業

市川学園(市川中・高校)卒業

日本歯科大学新潟生命科学部卒業

日本大学大学院総合社会情報研究科 修士課程修了

ジョージワシントン大学エリオット国際関係大学院

日米リーダーシッププログラム修了

歯科医師 元防衛省歯科医官

保護司

自由民主党

千葉県千葉市美浜区第十二支部 支部長

千葉県議会 文教常任委員会 委員

自由民主党 千葉県議会 会計

医療問題議員研究会 幹事

商工議員連盟 委員

生活衛生議員連盟 委員



千葉県総合救急災害医療センターの概要は次の通りです。

## 病床数 150床

■一般病床…100床 ■精神科病床…50床

## 各種指定等 各種保険適用などの指定・承認を受けております

## ■保険適用等

- ・健康保険・国民健康保険・労災保険
- ・生活保護法・結核予防法

## ■指定医療機関

- ・自立支援法・医療観察法

## 診療科

内科／循環器内科／外科／心臓血管外科／整形外科／形成外科／精神科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／脳神経外科／脳神経内科／救急科

## 施設概要

所在地 千葉県千葉市美浜区豊砂6番1

開院 2023年11月1日

構造 免震構造SRC造、一部S造、地上4階

延床面積 22,224.90平方メートル

## 災害発生時の対応

防災棟や地上ヘリポートを整備し、迅速なトリアージと搬送を実現するために、大規模災害時にも病院機能を維持できるよう非常用電源や飲料水などを配備。院内エントランスなどにも医療用ガス配管を置き、緊急時の患者収容能力を強化するほか、災害発生時にはDMAT(災害派遣医療チーム)とDPAT(災害派遣精神医療チーム)を当センター内で同時に運用し、身体・精神両面にわたる包括的な医療を提供します。

